



小坂アグリ株式会社
代表取締役 赤坂 正弘 さん

農業は自分一人ではできない。親戚や近所の人と協力し合いながら作るもの。子どもたちには、田植えを通して、みんなと協力し合う心を育んでほしいです。

国見小学校5年1組 穂苅 縁 さん(左)

田んぼのなかは、又メ又メしていて温かったです。苗を均等に植えるのが難しかったけど、楽しかったです。秋の収穫も楽しみです！

国見小学校5年2組 曳地 柊磨 さん(右)

初めての経験で、みんなと一緒にできて良かったです。田んぼのなかには、アメンボやカエルがいて、いろいろな生き物が住んでいるんだと思いました。



米づくりの大変さ、やりがいを感じて 国見小学校農業体験

国 見小学校5年生の児童たちは5月9日、農業体験学習の一環として田植えを行いました。町の基幹産業である農業を自ら体験し、農業や農作物の理解を深めるとともに、食の恵みや豊かさを、大切さを感じ取ることを目的に、「国見学」を学ぶ体験です。

当日は、地域学校協働本部事業の学校支援活動の取り組みとして、小坂アグリ株式会社や県北農林事務所伊達農業普及所、JAふくしま未来国見営農センター、そして八島英雄さんの田んぼをお借りし、多くの皆さんの協力のもと、福島県オリジナル品種「天のつば」の苗を植えました。

児童たちは、ぬかるむ足元に悪戦苦闘しながらも、



一つひとつ丁寧に植えていました。

泥のなかは気持ちいい

最初は田んぼに入るのを躊躇していた児童たち。いざ入ってみると、足から伝わる独特の感触に叫び声が響き渡ります。慣れてくると、「意外と温かい」、「気持ちいい」と楽しそうな声が聞こえてきました。

待ち遠しい収穫

秋には稲刈り体験も予定しており、収穫した米は調理実習でいただきます。子どもたちは口にするその時をワクワクしながら待っています。

